

# 共に生きる社会は、共に学ぶ学校から 6歳の春を分けるな！

## シンポジウム&コンサート

2007年9月28日、政府は前年12月に国連で採択された障害者権利条約に署名しました。障害者権利条約は、社会への完全かつ効果的な参加及びインクルージョンを権利として保障しています。

障害によって差別されることのない共生社会をつくるには、子どものころから共に学び育つことが不可欠です。しかし、日本では、障害のある子は、その種類・程度の基準によって分けられて就学しています。例外的に地域の学校で学んでいる子どもたちも、本来ここにいるべきではない子どもとして、様々な不利益をこうむっています。現在政府では、批准に向けて仮訳をもとに国内法制度の見直しを進めています。今この時期にアクションを起こし、「6歳の春を分けるな！」の声を、国会に届けなければ、何も変わらずに批准されることも考えられます。

昨年、就学指導委員会を廃止し、親と子どもの希望にそった就学を支援する仕組みに変えた東松山市の坂本市長と、障害者権利条約日本政府代表団の顧問として条約審議に深く関わってこられた東俊裕弁護士から、お話を伺い、地方の取り組みと条約(国際基準)の両面から、日本の分離制度をどう変えて行くべきかを提起していただきます。李政美さんの美しく力強い歌声に元気をもらって、分離教育制度からインクルーシブ(共に学ぶ)な制度へと転換させる声を大きく広げ、政府・文科省に届けていきましょう。

**日時** 2008年10月26日(日)  
開場:12時30分 開会:1時 閉会:4時45分

### プログラム

**講演** 坂本祐之輔さん(東松山市長)／東 俊裕さん(弁護士)  
**パネルディスカッション** 坂本市長・東さん・文科省(交渉中)  
**ミニコンサート** 李政美さん  
**今後に向けて行動提起・討議**



坂本祐之輔

1987年市議会議員。  
94年市長に就任。現在  
4期目。市政理念は、  
「ノーマライゼーションのまちづくり＝  
障害のある人もない  
人も、共に暮らしをわかち合うまちづくり」

**参加費** 2000円(資料代含)



李政美

オリジナル曲の他、フォークソング、朝鮮民謡、様々なジャンルの歌のカバー等、多彩なレパートリーで年間100ヶ所余りのステージに立つ。

### 場所 東京都しごとセンター 講堂

東京都千代田区飯田橋 3-10-3

TEL 03-5211-2308

JR飯田橋駅東口、徒歩7分  
地下鉄東西線・有楽町線・南北線・  
大江戸線飯田橋駅A2出口、徒歩7分  
東西線飯田橋駅A5出口徒歩2分

### 主催

障害者権利条約批准・  
インクルーシブ教育推進ネットワーク



連絡先: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11-8 武蔵野ビル5F

DPI 日本会議 事務局 気付 TEL 03-5282-3730 fax 03-5282-0017

メールアドレス jyoyaku-inclu-net@victory.nifty.jp

## 障害者権利条約批准・インクルーシブ教育推進ネットワーク

共同代表：北村小夜（障害児を普通学校へ・全国連絡会 世話人）、青海恵子（翻訳家 NPO 法人フットルース代表）、徳田茂（障害児を普通学校へ・全国連絡会 代表）堀智晴（大阪市立大学 教授）、牧口一二（大阪市立大学[障害者と人権]講師/NHK 教育テレビ「きらっといきる」司会者）、三澤了（DPI 日本会議 議長）、嶺井正也（専修大学 教授）、毛利子来（小児科医）

事務局長：楠 敏雄（DPI 日本会議） 事務局次長：大谷恭子（弁護士 原則統合・連絡会議代表）

事務局：石毛えい子（元衆議院議員）石橋宏昭（全国障害者解放運動連絡会議）一木玲子（大学教員）尾上浩二（DPI 日本会議）姜博久（DPI 日本会議）黒須さち子（教育の欠格条項をなくす会）小林篤（特別支援学校教員）小林律子（福祉労働編集部）千田好夫（障害児を普通学校へ・全国連絡会）田中禎憲（特別支援学校教員）名谷和子（小学校教員）東俊裕（弁護士、国連障害者権利条約日本政府代表団顧問、DPI 日本会議）南館こずえ（大学教員）山崎恵（障害者自立生活センター・IL-ism）

賛同団体：障害児を普通学校へ・全国連絡会、たけとんぼの会、地域の学校で学ぶ視覚障害児（者）の点字教科書等の保障を求める会、NPO 法人 Q.B.、ヘルプセンターじゃんぶ、NPO 法人自立生活支援の会、障害者生活支援センター・てごーす、全国障害学生支援センター、NPO 法人自立生活センター・立川、NPO 法人くじら雲、社団法人子ども情報研究センター、都立文京高校定時制の退学処分を絶対許さない会、NPO 法人自立支援センターおおいだ、比企市民ネットワーク、いくの障害児（者）・家族地域支援センターほっと、DPI 北海道ブロック会議、NPO 法人 ALSMND サポートセンターさくら会、社会福祉法人 道南福祉ねっと、マジカルハウス柿のたね、アジア女性資料センター、大阪青芝の会、特定非営利活動法人 海から海へ、所沢・教育福祉を問い直す会、インクルーシブ友の会、人工呼吸器をつけた子の親の会（バクバクの会）、全労協全国一般東京労組日体分会、世田谷市民運動いち、NPO 法人 You a Family Club（障害児・者 家庭自立支援）、NPO 法人障害者の自立を支えるサポートネットワーク、南部障害者解放センター、自由民権 21、千葉市地域で生きる会、千葉「障害児・者」の高校進学を実現させる会、「障がい」のある子どもの教育を考える北摂連絡会、共に育つ教育を進める千葉県連絡会、八千代市障害児の保育を考える会、金沢つながりの会、山形県障がい児学校教職員組合、広島県高等学校教職員組合沼南校分会、自治労宮崎県本部障害労働者連絡会、品川区教職員組合、日本脳性マヒ者全国青い芝の会、教育と人権を考える品川の会、品川・平和憲法を生かす会、NPO 法人 ヒューマンネットながの、東京都障害児学校労働組合、東京都公立学校教職員組合、知的障害者育成会高槻手をつなぐ親の会、つたえる・つながる・つくる インクルーシブ・ライフ、まあい会、障害児を普通学校へ・全国連絡会 香川、香川県「障害児・者」の高校進学を実現する会、インクルージョン実践研究会、品川・地域で共に生きる会、交流ペース みんなの家、愛知「障害児・者」の高校進学を実現する会、名古屋市「障害児・者」生活と教育を考える会、石川中裁判を考える会、板橋就学時健康診断を考える会、インクルーシブ教育研究会、NPO 法人はちくりはうず、愛媛・知的障害児の家族と理解者の連絡会、大竹市障害者プランを考える会、神奈川「障害児」の高校入学を実現する会、共育をつくりだす会、こぶたの学校4日曜日の会、普通学級で障害児を受け持つ担任と親の交流会、札幌・共に育つ教育を求める会、就学時健診を考える府中市民の会、障害者の労働・差別を考える会、NPO 法人フリーステーションとよた、わっぱの会、多摩島嶼地区教職員組合、地域・校区で「障害児・者」の生活と教育を保障しよう茨木市民の会、地域で生きる教育とくらしをめざす会、広島青い芝の会、八王子保育教育を考える会、宮崎「障がい児・者の高校進学」を実現させる会、たんぼぼの会、杉並・中野 教育保育を考える会、東大阪市「障害児・者」の生活と教育を保障しよう市民の会、自立センター・足立（やんま）、山梨教育運動ユニオン、練馬いっしょの会、自立生活センター ユートピア若宮の会、共に学び共に生きる江戸川の会、富里共に育つ会、障害児の高校進学を考える兵庫県交流会実行委員会、社団法人ひょうご部落解放・人権研究所、福祉労働編集委員会、NPO 法人西東京総研、障害者問題資料センターりぼん社、そよ風のように街に出よう編集部、特定非営利活動法人 兵庫虹の会、特定非営利活動法人茨城県精神障害地域ケア研究会、宝塚市社会民主党議員団、共育を考える会、LLC てくてく、NPO 法人マイスペース美幌、ひびき福祉会 ひびき de ほっと、生る・在る会、特定非営利活動法人 女の空間 NPO

賛同人：472人

（2008年7月末現在）

**賛同団体・賛同人募集中**